

みんなで語る会報告書

- 開催日時 : 平成29年9月25日(月)(19時00分~20時30分)
- 開催場所 : 中央公民館
- 参加者数 : 【市民】12人【市職員】市長ほか14人【総計】27人

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 市職員自己紹介
- 4 意見交換
- 5 地域代表あいさつ
- 6 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

所有者が明確でない土地の雑草にスズメバチが巣を作っているが、どうしたらよいか。

<市民生活部長>

条例で、雑草が周辺環境を著しく阻害している場合、所有者もしくは管理者に処理を勧告することができる。場所が特定できれば、このような手続きを行いたい。

スズメバチについては、市で駆除ができないが、駆除業者の紹介は可能である。

<市長>

場所を教えていただければ、明日にでも担当を見に行かせる。スズメバチが住民に怪我をさせてはいけない。

【市民】

指宿港海岸整備が進められているが、突堤を設置してほしい。

<建設部長>

突堤設置の要望については、ワークショップで意見を出していただきたい。

<市長>

そのような意見があったことは、ワークショップの中で市民の皆さんの意見として出していたきたい。

【市民】

指宿市は平和都市宣言をしている。市の施策として、核兵器廃絶に関してどのような取り組みを行ったのか。

<市長>

さまざまな所で指宿市が標榜する平和について、市民に知らしめる必要があると思っている。

市長会などの場で発信や情報収集をしたい。広報紙等で特集を組むなど、市民への周知も行い

たい。

<総務部参与>

市としては、反核平和の日リレー等の民間団体からの申し入れについては、市長・副市長で対応するなど、宣言都市として履行しているものと認識している。

【市民】

私道について、行政の力で改良してほしい。子どもたちも利用する道路である。

<建設部長>

私道のため、どうしても所有者の同意が必要になってくる。買収もしくは、寄附採納という形で市道になれば、すぐにでも整備をしたい気持ちである。

<市長>

何とかする方法がないか、私も現場を確認したい。

【市民】

指宿高校から揖宿神社への道路は通学路になっているが、幅員が狭く、子どもたちが左側通行するように指導されている。道路拡幅等検討できないか。

生垣が道路まで出ている箇所がある。個人の庭の木を道路に出さないような指導が必要ではないか。

<教育長>

スクールゾーン委員会では出されている議題である。

<建設部長>

民法上、庭木を無断で剪定することができないため、広報紙等で適正管理を呼び掛けている。

<市長>

いろいろな考えを持った方がいらっしゃるが、安全という面から適切な管理をお願いするようになりたい。

地域だけでできないときには、我々に言っていただいて、一緒にどのような方法で解決できるかを考えたいと思う。

【市民】

国道を鹿児島市から指宿市に入るとき、蒸気を出すなど、指宿温泉に来たなと感じられる演出が必要ではないか。

<市長>

指宿は温泉地として、訪れたときにそれを感じられるような仕掛けをすべき。瀬崎の入り口にそういうものを設けることは必要だろうと思う。

東洋のハワイといわれた昔の賑わいを取り戻すために、努力しなければならないと思う。

指宿駅前についても、海岸整備と併せて賑わい創出に取り組みたい。

<産業振興部長>

現在、3 m×5 mの看板を設置している。できれば指宿の入り口や観光名所の所に湯煙が上がるようにできればと思っている。

<市長>

由布院や別府、下呂のような温泉地に行くと、力を入れていることが分かる。指宿はこのままでいいのかと言われることについて、私も同感である。

「西郷どん」を景気に何か変えたいと思っている。

【市民】

地熱の恵み活用プロジェクトを実行してほしい。外国人観光客を多く取り込めると思う。

<市長>

副市長を中心に、アイスランドのブルーラグーンに視察に行ってもらった。温泉地としての旅館の考え方、行政の考え方、議会の考え方がいろいろあった。いろいろな方の理解を得ることが第一であろうと思う。単なる温泉、観光だけではなく、農業や水産業に利用できると考えている。

【市民】

市民がごみ処理について、真剣に考える必要があると思う。特に若い方のごみの分別がずさんである。

<市長>

これは、モラルも問題であろう。若い親御さんのごみ処理に対する関心が低いことから、PTA等で取り組んでほしい。

<教育長>

ごみ処理問題は、学校教育の中でも重要なものの一つである。市の環境政策課と連携を図りたい。

<市民生活部長>

施設建設に約80億円掛かっている。この施設をなるべく長く使用するためには、ごみの減量化が必須である。

市としては、ごみ分別辞典を改訂し、全戸配布を実施した。

また、スマートフォン向けのいぶすきアプリにも、ごみに関する情報を掲載している。

【市民】

自宅付近に台風や大雨の際、側溝の水が溢れそうになる箇所があるので、対策をお願いしたい。

<建設部長>

跳ね上げる水を覆うような鉄板等もある。担当課に現地を確認させて、対策を講じたい。